

<情報の活用と情報倫理> 練習問題 3～ブレインストーミング～

■目的

- ・メディアリテラシーを考える
- ・意見交換など大学生に必要なスキルを身につける
- ・クラスメイトとの親交を深める

■手法

□人数

多くても1グループ10人まで。7人くらいが妥当。

□役割分担

- ・ブレストを取り仕切る進行役「司会者」
- ・アイデアを書き出す書記役「記録係」

* アイデアシート

A3程度の両面白紙

書き方は自由

(メンバーの氏名は記入)

■テーマと流れの例 (1つのテーマを全グループで扱う)

「個人情報の流出を防ぐために個人／社会が気をつけることは？」

Step1: 個人情報が流出するおそれのある場を列挙する

ex) ポイントカードの会員登録 SNSなどの書き込み

「双方向コミュニケーションツールを社会的に有効活用するためには？」

Step1: 双方向コミュニケーションツールを列挙する

ex) Skype

「コンピュータウイルスの感染を防ぐためには？」

Step1: コンピュータウイルスに感染するおそれのある場を列挙する

ex) オンラインゲームの裏技や攻略法が掲載されているサイトにアクセス



Step2: その中で特に関心のある（意見の出しやすい）項目に注目して

さらにアイデアを集める

Step3: グループごとにテーマに対する結論を1つだけ発表する

授業後、アイデアシートを提出する

ブレストの基本原則

- I 批判をしない
- II 突拍子もないアイデアを歓迎する
- III アイデアの量にこだわる
- IV アイデアを融合させて改良する

<参考資料>

「ブレインストーミングのやり方」基本編（株式会社バリスタ）

http://7daysweb.heteml.jp/ballista/wp-content/uploads/2009/10/brainstorming_basic2.pdf